

令和7年下川消防出初式 町長（副管理者） 挨拶

団員の皆様、改めまして、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、石川県能登半島におきまして、元日の「能登半島地震」、9月には「能登豪雨」と、地震の被災者が身を寄せる仮設住宅も浸水の被害に遭われ、地震と豪雨、2度の災害で甚大な被害を受けられました。犠牲になられた方々に対し、謹んでお悔みを申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

本町におきましては、年末から年始にかけて、穏やかな天候の中で、2025年の新春を迎えることができました。

皆様におかれましては、健やかに、そして、元気に結集されたこととお喜びを申し上げる次第でございます。

また、今日の出初め式に、一年の抱負と高い志を持って臨まれたことと推察する次第でございます。

さらに今程は、永年にわたってご尽力いただきました団員の皆様が、消防活動に勤しまれ、そして、多くのご活躍をいただきましたことから、表彰の栄に浴されましたこと、心から敬意と祝意を表する次第でございます。

日頃から、本町のまちづくりの様々な事業や施策に、ご理解とご支援をいただいておりますことに対しまして、この場を借りて、感謝と御礼を申し上げます。

また、日夜、地域の住民の生命と財産を守るという、大きな使命を抱えられ、厳しい消防訓練をされておりますことに、敬意と感謝を申し上げます。

昨年6月30日には、下川町にぎわいの広場にて、総勢279名の参加により開催された、令和6年度第53回名寄分会消防総合訓練大会の小型ポンプ実戦操法におきまして、下川消防団の皆様が3位の成績をおさめられました。このことは、日頃から高い使命感を持ち、訓練を積み重ねることで、いざという実践の場で課題を乗り越える力を発揮することができたということであり、皆様の活動の賜物であると思えます。

まちづくりも同様でありまして、使命を果たすためには、難しい課題がたくさんありますが、町民とともに、情報を共有し、理解と納得をいただいた上で、その課題を一つひとつ解決していくことが、大切であると考えております。

下川町では、2030年の下川町のありたい姿を掲げ、まちづくりを進めております。

そのありたい姿は、7つのゴールの一つに、挑戦し続けるまちづくりを掲げており、町民が持つ挑戦の心を大切にして、一つひとつ乗り越えていく、そういう努力を惜しまないことが、非常に大事なことだと認識しております。

これからの消防活動におきましても、有事の際は、厳しい環境ではありますが、日頃の訓練を重ねられ、最小限の被害に留めるための努力を継続していただき、住民の生命と財産を守っていただくことを、熱望する次第でございます。

結びに、下川消防団のますますのご隆盛、そして、団員の皆様のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。

令和7年1月12日

上川北部消防事務組合副管理者
下川町長 田村 泰司